



バイオスコープ撮影機
(国立映画アーカイブ蔵)

映画界の風雲児 梅屋庄吉

Mumeya Shokichi - a pioneer in the Japanese film industry -

2018. 10.6 [土] ▶ 11.25 [日]

開場時間: 10:00~19:00 (最終入場18:30) ※休館日: 10.15[月]、11.19[月]

入場
無料

会場: 長崎歴史文化博物館 3階企画展示室

主催: 「映画界の風雲児 梅屋庄吉」展実行委員会 (長崎歴史文化博物館、長崎県、長崎市)

特別協力: 小坂文乃

後援: 中華人民共和国駐長崎総領事館、中国東方航空長崎支店、長崎県日中親善協議会、長崎華僑総会、長崎福建会館、長崎新華僑華人協会、長崎日本華僑華人婦人連合会、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、日本経済新聞社長崎支局、共同通信社長崎支局、KTNテレビ長崎、NIB長崎国際テレビ、NCC長崎文化放送、NBC長崎放送、NHK長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎商工会議所、長崎県タクシー協会、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会、長崎県映画センター

梅屋庄吉

孫文と梅屋夫妻写真より (小坂文乃氏蔵)



ASA KUSA PARK, TOKYO.

園 公 草 淺

(所名京東)

明治・大正・昭和と激動の時代を駆け抜けた長崎出身の実業家、梅屋庄吉(1868～1934年)。彼が生まれた当時の日本は、西洋から近代化の波がー挙に押し寄せてきた時代でもありました。この頃、新たなメディアとして登場したのが映画です。映画は、新たな時代の幕開けを象徴する存在として世界で確固たる地位を築いていきます。

日本でも1897年(明治30)、初めて日本人の手で映画撮影が行われるなど、映画は急速に根を下ろしていきます。アジア各地でビジネスをしていた梅屋は、香港で写真館を営み、シンガポールで映画ビジネスにも着手し大成功を収めて帰国します。帰国翌年の1906年(明治39)には映画会社「Mパター商会」を立ち上げ、草創期の日本映画界を牽引する存在として活動し、現在の映画会社「日活」の前身、「日本活動写真株式会社」の創立にも大きな役割を果たしました。

本企画展では、梅屋庄吉生誕150周年を記念し、梅屋が映画人として果たした役割を紹介します。世界と日本の行く末を見据え、様々な挑戦をした映画人・梅屋庄吉の情熱と功績は、映画会社経営者という表現だけではとても語り尽くせません。その熱き想いは、彼が生涯にわたり孫文の革命活動を支援し続けたことともつながります。本企画展を通して映画人としての梅屋庄吉の新たな一面を感じ取っていただければ幸いです。

Mumeya Shokichi - a pioneer in the Japanese film industry-

梅屋庄吉

映画界の風雲児

梅屋庄吉生誕150周年・明治150年記念企画展



日活創立の記念写真(小坂文乃氏蔵)



『活動写真界』(1911年)(国立映画アーカイブ蔵)



『ザ・キネマ・タイムズ』創刊号(1916年)(個人蔵)



◀イギリス製カメラ(1895年)(長崎歴史文化博物館蔵)



梅屋写真館で撮影された写真
「海岸でボーカーをする水兵4名」(長崎歴史文化博物館蔵)



南極探検陸上隊員絵葉書(個人蔵)



日本南極探検



Mパター商会によって製作されたドキュメンタリー映画
「日本南極探検」(1912年)のデジタル復元版(復元:国立映画アーカイブ、原画提供:村上正俊)



日本人が撮影した
南極探検の
貴重な映像が
見られるよ!



Event 1

記念講演会「プロデューサー梅屋庄吉が観ていたもの」

日時 10月6日(土) 13:30～15:00 場所 1Fホール 講師 小坂文乃氏(梅屋庄吉曾孫)
※聴講無料

Event 2

関連講演会「映画起業家としての梅屋庄吉」

日時 11月17日(土) 13:30～17:00 場所 1Fホール ※聴講無料
「梅屋庄吉、映画に挑むー革新と、革新と、野望と、ー」 講師 本地陽彦氏(日本映画史研究家)
「梅屋庄吉と『日本南極探検』ー受け継がれる映画遺産」 講師 大傍正規氏(国立映画アーカイブ主任研究員)

Event 3

「活弁ってな〜んだ?」

日時 11月10日(土) 場所 1Fホール
レクチャー&ワークショップ 10:00～12:00 ※入場無料
レクチャー「映画史の中の活弁史」
ワークショップ「活弁って楽しい!」を体験しよう!

講師 弁士・麻生子八郎

無声映画上映会 13:30～15:30

「国定忠次」(弁士:麻生八郎)
「チャップリンの霊泉」(弁士:麻生子八郎)
「坂本龍馬」(弁士:麻生八郎)

入場料 一般1,800円(前売1,500円)
高校生以下 700円(前売 500円)



「チャップリンの霊泉」(1917年)

国境を超えた梅屋庄吉と孫文の友情についてはこちら!



長崎近代交流史と
孫文・梅屋庄吉ミュージアム
(長崎市松が枝町4-27)



問い合わせ 長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture
〒850-0007 長崎県長崎市立山 1-1-1
Tel.095-818-8366 Fax.095-818-8407
http://www.nmhc.jp

同時開催

追悼特別展 高倉 健

3階企画展示室

一般1,200円(1,000円) 高大生600円(500円) 小中生400円(300円)

※○は前売料金。前売り料金の販売は10月5日まで。